

経営比較分析表（令和5年度決算）

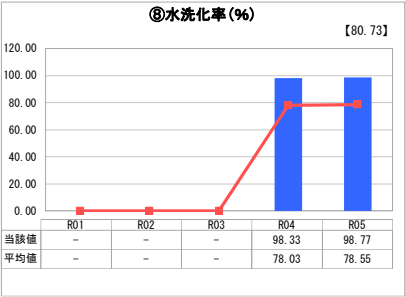
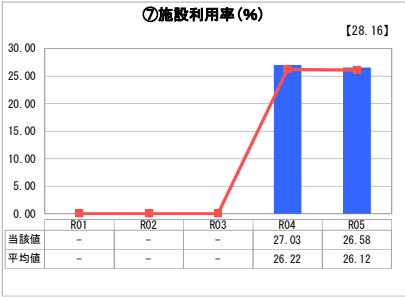
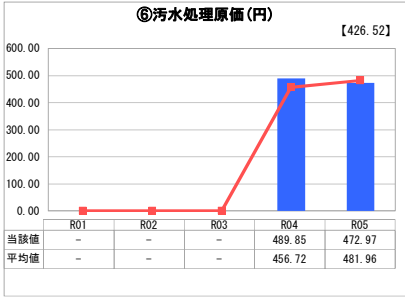
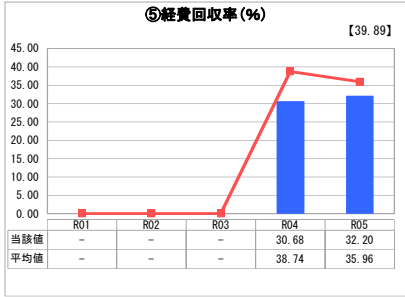
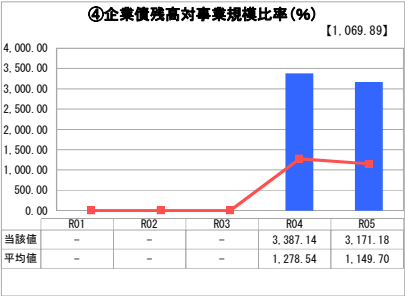
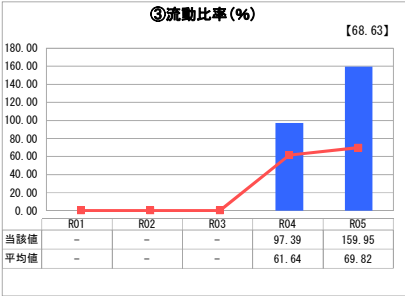
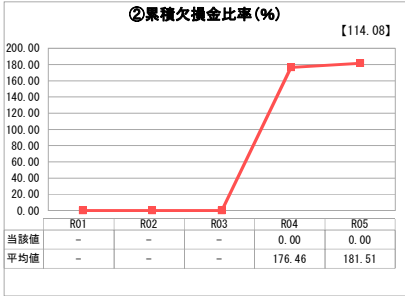
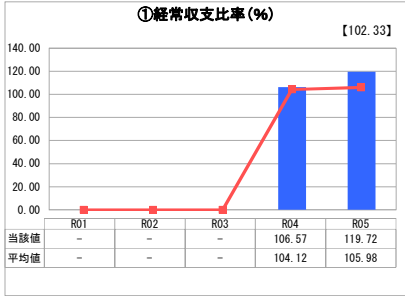
宮城県 日南市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	漁業集落排水	H2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	70.96	0.50	92.71	3,025

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
49,037	535.49	91.57
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
243	0.18	1,350.00

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

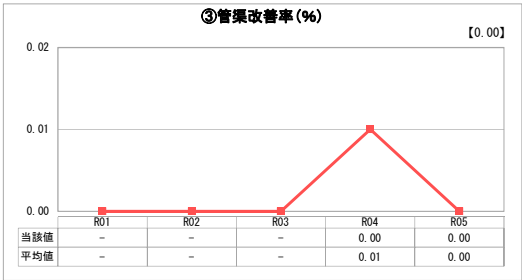
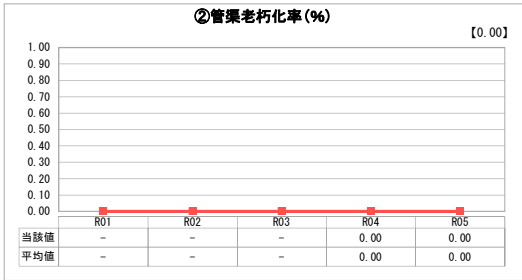
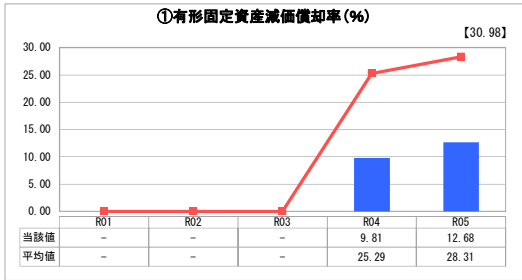
- ①経常収支比率
黒字ではあるものの、経費回収率が示すように、使用料収入では賄えない部分を他会計補助金に依存している状況です。
- ③流動比率
預金の増加及び未払金の減少により、流動資産が前年度と比較して大幅に高くなっています。今後も健全経営に努め、比率の上昇に努めます。
- ④企業債残高対事業規模比率
類似団体平均値よりも高い状況です。使用料収入が少額であるため、今後もこの傾向が続くと思われます。
- ⑤経費回収率
類似団体平均値よりも低い状況です。処理人口が少ないことから、今後もこの傾向が続くと思われます。
- ⑥汚水処理原価
汚水処理費の減少により、前年度を下回っています。今後も同程度の率で推移すると思われます。
- ⑦施設利用率
前年度と同程度の状況です。処理水量が年々減少していることから、施設利用率は減少傾向です。
- ⑧水洗化率
類似団体平均値よりも高い状況です。100%を目指して、今後も更なる普及促進に努めていきます。

2. 老朽化の状況について

管渠老朽化率及び管渠改善率は0%で推移していますが、夫婦浦地区が平成12年度、富士地区が平成15年度に供用開始しており、今後は経年劣化による管路施設の更新が必要になる見込みです。

また、処理施設の電気・機械設備については、耐用年数を超過しているため、機能保全計画に基づき更新工事を行い、施設の延命化を図っていきます。

2. 老朽化の状況



全体総括

本事業は、他会計補助金を充当することで経営を維持しています。

将来的には、処理区域内の人口減少による収入の減少と施設の老朽化に対する工事請負費の増加が予測されることから、他会計補助金や地方債の借入への依存度がさらに増えることが予測されます。

今後は、令和3年度に策定した経営戦略に基づき、計画的かつ合理的な経営管理に努めます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。